

看護学部／看護学科	職名	准教授	氏名	吉田 恭子
-----------	----	-----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

高齢社会を支える一つの方法としての介護保険法は、在宅療養者やその家族、その人々を取り巻く保健福祉医療職種の在り方を再考する機会となりました。要援護者の増加への対策を中心に介護保険法は改正を繰り返しており、介護予防への取り組みと同時に、多死時代を迎えるにあたり、死にゆく人と家族へのケアも重要になってきます。そのため、在宅療養中の高齢者とその家族のケアマネジメントをテーマとして、質の高い生活を維持できるような看護実践の検討について考えています。

また、ヤングケラーの支援について検討しています。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

- ・ 吉田恭子. (2022). 日本のヤングケラーに関する研究の文献検討－看護分野の課題と役割, 福岡県立大学看護学研究紀要 第 19 巻, 89-97
- ・ 吉田恭子. (2019). 小規模多機能型居宅介護の従事者に生じる終末期ケアに係る課題の検証, 福岡県立大学看護学研究紀要 第 16 巻, 95-101

### ②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 吉田恭子、小規模多機能型居宅介護における看取りの経過－援助者の視点から－、日本社会福祉学会第 68 回秋季大会、2020
- ・ 吉田恭子、小規模多機能型居宅介護における終末期ケアの実態調査－疾病およびケア内容の実態－、日本看護研究学会学術集会、大阪、2019

### ③過去の主要業績

- ・ 吉田恭子. (2018). 小規模多機能型居宅介護職員の介護経験が職場満足と終末期ケアに与える影響, 九州社会福祉研究 第 42 号, 1-12
- ・ 吉田恭子、小規模多機能型居宅介護の従事者が考える看取りの必要に影響すること、日本老年看護学会学術集会、福岡、2018
- ・ 吉田恭子、小規模多機能型居宅介護における職場満足と近親者への看取り介護経験との関連、日本社会福祉学会九州地域部会、熊本、2017

## 3. 外部研究資金

## 4. 受賞

## 5. 所属学会

日本看護福祉学会、日本老年看護学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会、日本社会福祉学会、日本看護科学学会

## 6. 担当授業科目

在宅看護学概論・1 単位・2 年・前期、在宅看護学・2 単位・2 年・後期、キャリア像確立講義 I・1 単位・1~2 年・後期、暮らしを知る実習・1 単位・1 年・後期、在宅看護学演習 I・1 単位・3 年・前期、在宅看護学演習 II・1 単位・3~4 年・通年、在宅看護学実習・2 単位・3~4 年・通年、キャリア像確立講義 II・1 単位・3~4 年・後期、専門看護学ゼミ・1 単位・3 年・通年、統合実習・2 単位・4 年・通年、卒業研究・1 単位・4 年生・通年、在宅看護学特論・1 単位・1 年・前期、在宅看護学演習・1 単位・1 年・後期

## 7. 社会貢献活動

認定 NPO 法人 日本セラピューティック・ケア協会 危機管理委員会

## 8. 学外講義・講演

福岡県消防学校、「在宅医療法患者の処置」、2023 年 2 月

## 9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員